

## 地域コミュニティ機能等

- ・小学校はこれまで地域住民にとって愛着があり、地域コミュニティの場として重要で大切な役割を果たしてきたことを踏まえ、地域コミュニティ機能として、どのように地域貢献できるのかを具体的に記載してください。
- ・地域住民及び地域団体等との連携方法や、周辺エリアとの繋がりによる地域活性化について記載してください。
- ・活用事業による周辺エリアへの波及効果について記載してください。

### 4. 「地域の魅力発信」事業

**生野区の新鮮で面白い情報を届ける。**  
生野区のまちの魅力を多方面から掘り下げ発信する。

**1. 地域メディアを通じた内外への情報発信**

—生野区ならではの地域の魅力を発信する。

ローカルメディアである「いくのぐらし」(一般社団法人いくのもり)と「生野Labo」(株式会社メニュー・デザイン研究所)の拠点機能を置き、生野区の魅力を多様な切り口から情報発信します。地域住民が自分のまちに誇りを持ち、区外の人は生野区の新たなまちの魅力を発見する機会を提供します。また災害時には多言語の情報提供や避難誘導において可能な限り外国人に配慮した支援体制の構築に寄与します。

**2. シンポジウム・セミナーの実施**

—多文化共生に向けたテーマを掘り下げる。

地域、行政、大学・学校、NPO、企業などの多様なステークホルダーを招いた対話の機会を提供しています。地域社会と他のステークホルダーとのあいだで丁寧な対話を重ね、地域社会における多文化共生の理解に向けた「土壤」づくりに寄与します。

### 3. 「食と職による地域貢献」事業

「食」と「職」は、生きるうえで基本中の基本。  
地域の健康と雇用に寄与したい。

**1. サブスクリプション(定額) 制食堂の運営**

—栄養バランスの取れた食事の提供、安心して通える「地域の台所」に。  
共働きで子育てする家庭、一人暮らしの高齢者など毎日自宅で食事を準備することが難しい家庭に、安心・安全で美味しい食事を提供します。誰もが通いやすい「地域の台所」にします。また多文化・多世代の人々が同じ食卓に集うことで、食を通じたコミュニケーションが生まれる場となります。

**2. シェアキッチン/キッチンカーのレンタル**

—飲食店開業に向けてチャレンジしやすい環境を整備する。  
イベント出店だけでなく、実店舗オープンへの第一歩として比較的の安価で効率よく運営できるキッチンカービジネスを応援します。食に関わる事業者を育成し、近隣の商店街などへ常設店舗のオープンをサポートすることで、地域経済への波及効果を生み出します。

**3. 「飲食人大学」の運営**

—短期間で現場実践力を。「飲食人」を育成するスクール。  
現場で通用する実践的な技術を短期間で習得することを目的に設立された学校を移設します。現在は3ヶ月で寿司職人を育成する「寿司コース」を大阪・東京に開校。寿司だけでなく、焼鳥、中華、パンなどより幅広いニーズに応えるコースを展開予定です。手に職をつけたいと考える人々にとって「飲食業界」という新たな選択肢を見つける機会となります。

**4. ゴーストキッチンの運営**

—デリバリーを、もっとおいしく。  
新型コロナの影響により、デリバリーの需要が拡大しています。既存のデリバリーシステムの「冷めてしまう」「液だれ・傾きが発生する」などの課題を解決するために、電子レンジで温めるだけで美味しい食事が楽しめる新たな商品を提供します。外に出歩くことが困難な高齢者なども、安心して美味しい食事を楽しめる食のインフラを整備します。

**5. 障がい者が働くカフェ&レストランの運営**

—障がい者が働き、儲ける「食」場をつくる。  
美味しい飲食を提供するカフェ&レストランを運営することで、地域の障がい者の人たちの雇用を生み出します。すでに大阪市立大学内にも、同様のコンセプトでレストランを経営しています。子どもたちが小さい頃から障がい者や外国人と自然な形で出会い、交流することができる空間は、多文化共生の感度を育んでいく得難い機会と場を提供することになります。(運営主体:社会福祉法人野のはな)

**6. 地元の中小旅行会社による旅行商品の創出**

—生野区の地域観光資源を発掘し、商品化する。  
生野区には大阪有数の集客力を誇る生野コリアタウン(御幸通商店街)があり、ユニークなもののづくり業者も集積しています。地域観光資源を知り尽くした地元の中小旅行業者が旅行商品を創出することで、まちの活性化と地域経済の振興につなげます。(運営主体:海鷗トラベル株式会社)

## 5. 「イベント・スポーツ・アート」事業

「広い世界」「異なる他者」を知ることは「未知なる自分」を知ることにつながる。  
イベント・スポーツ・アートは人のモチベーションを駆動させる。



### 1. 多文化クロッシングフェス／ワールドフードフェスの実施

— 日本で一番多様な食と文化を楽しめるイベントを通じて、国籍や民族などの境界をまたぐ。

多文化交流を演出する空間—毎年1回「多文化クロッシングフェス」、年数回「ワールドフードフェス」を開催します。世界各国の音楽、ダンス、飲食など多様な文化を通じた出会いと交流の場をつくるとともに、「グローバルタウン」としての生野区のブランディングを図ります。年間200万人の来街者でにぎわう生野コリアタウンと積極的に連携・協力を図ります。



### 2. ストリートスポーツ体験の運営

— 下町ならではのスポーツにふれる場所をつくる。

東京五輪の新種目として注目されたBMXやスケートボード、パリ五輪で新種目に採用されるブレイクダンスなど下町から生まれたストリートスポーツを体験できる施設を運営します。レンタル可能な設備を整えるだけでなく、子どもたちも気軽に体験できるキッズ向け教室も開催します。



### 3. UNKNOWN ASIA : アート展示ギャラリーの実施

— 国境を越えた若手アーティストを応援する。

アジア10か国から約200組の次世代アーティストが集まる国際的なアートフェア「UNKNOWN ASIA」が、毎年大阪で開催されます。その受賞者が展示を行うスペースを提供します。若手アーティストにとっては、地域住民をはじめ多くの人々に見ていただく機会となります。国境を越えてさまざまな人々がアートに触れる場所となります。

## 6. 「地域に開かれた場」事業

誰にでも開かれた憩いの「場所」をつくる。

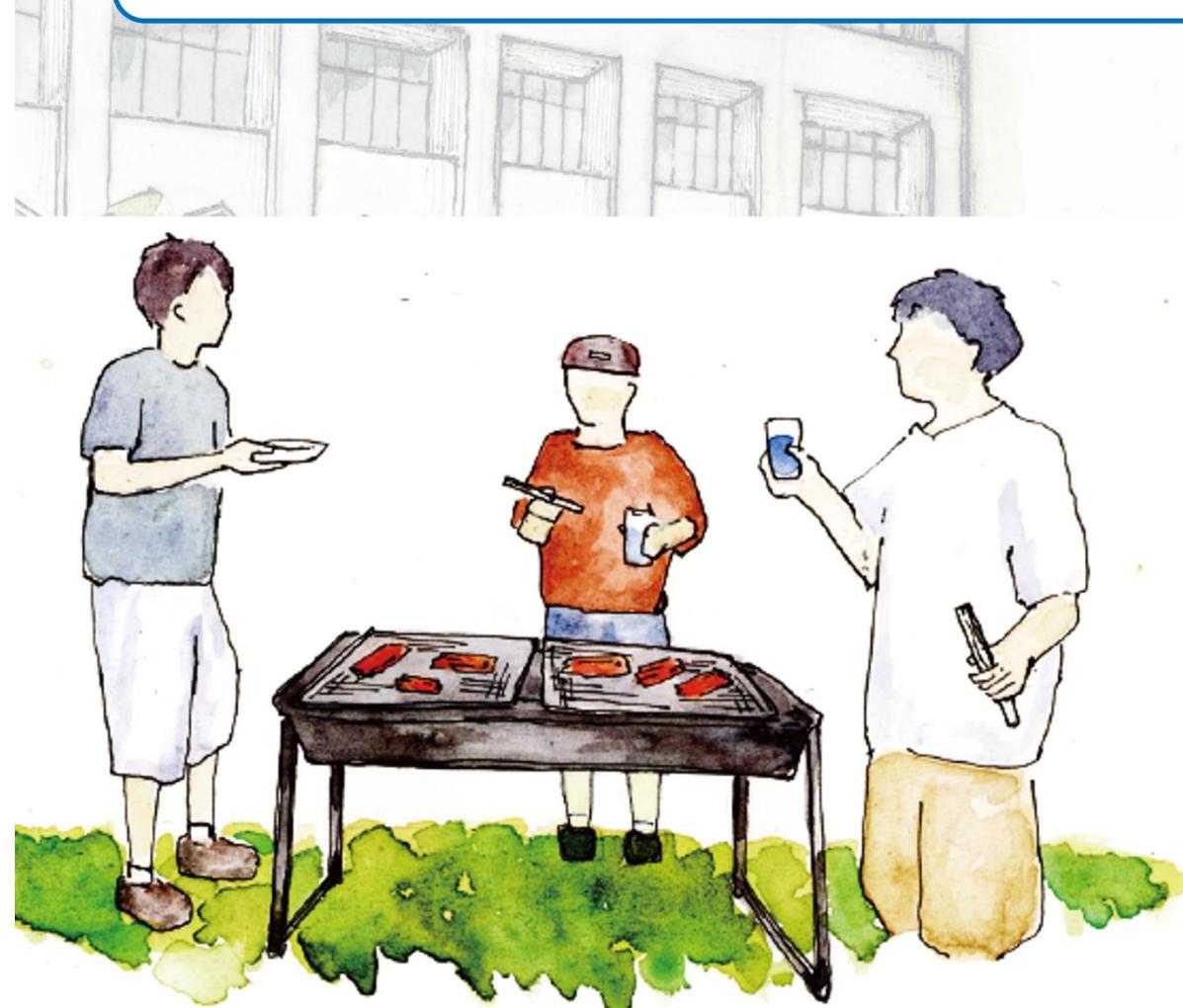
地域住民同士、地域の「内」と「外」の人をつなぐ。



### 1. 運動場の芝生化とバーベキュー場の運営

— 誰もが集まる場の仕組みをつくる。

運動場の一部（約1,000m<sup>2</sup>）を芝生化し、子どもから高齢者まで誰にでも開かれた多文化・多世代の憩いの「場所」にします。生野コリアタウンなどと連携して、地域の食材を使用した焼き肉などのバーベキューを楽しめる場と仕組みをつくり、地域経済の活性化に寄与します。



### 2. 子育てをサポートする図書室の運営

— 気兼ねなく子育てができる空間をつくる。

地域のママさんたちが中心となって計画・運営します。多言語の絵本も備えられ、気兼ねなく子育てができる空間。医師が運営する「地域の保健室」を目指すNPOなどと連携して、保護者の子育ての悩みや相談事もサポートできる体制もつくります。地元の保育園が「親子つどいの場」としても活用し、専門性を持ったスタッフが常駐します。

### 3. 市民農園の運営

— 貸農園を通じた地域住民同士の交流の場をつくる。

火山灰など天然の物質を原料とする「パクチー」を使用し、畑作業の未経験者でも手軽に「農」にふれることができるシェア農園を運営します。健康で豊かな生活を送るうえでの基礎となる食育を学ぶ機会になり、地域住民同士の出会いと交流の拠点としても利用できます。

### 4. 地域住民団体との協働とNPOの集積

— 地域の多様な団体との幅広いネットワークの構築を通じて、まちづくりのシナジー効果をつくりだす。

御幸森まちづくり協議会との間で、まちづくりに向けて共同連携して取り組んでいく連携・協力協定をすでに締結しています。地域の盆踊りなどのイベントへの協力はもちろん、より積極的に地域のまちづくりに参画します。生野コリアタウンともすでに緊密な関係を構築しています。また地域の教育・まちづくり・人権NPOの事務所を集積することで、分野を超えたまちづくりのシナジー効果を生み出します（NPO法人クロスペース、NPO法人コリアNGOセンターなど）。